

## 内村 航平 UCHIMURA, Kohei



1989年(昭和64年)1月3日生まれ(24歳)。長崎県出身。身長162cm。  
現所属:コナミ(日本体育大学卒)。コーチ:加藤裕之、佐藤寿治、森泉貴博。  
得意種目「ゆか」「平行棒」。  
初めての国際大会:2005年国際ジュニア(オープン参加)  
ナショナル入り2006年:ナショナルNo.162。

家が体操クラブであり、遊んでいるうちに本格的に体操を始める。得意種目のゆかでは、「宙返り」「ひねり」といった体操感覚をフルに活かし、脚力以上に魅力的な演技構成を披露する。2006年高校選抜と全日本ジュニアの2冠を獲得し、その年の全日本では高校生ながらナショナル入り。2007年ユニバーシアード団体優勝とともに種目別ゆかで優勝。その勢いを維持して1年生ながら学生日本一のタイトルを獲得した。2008年、初めてのオリンピックで団体銀メダルに貢献。さらに個人総合決勝ではあん馬において2度落下したがあきらめず、つり輪以降、最後の鉄棒まで真摯な演技を続け、銀メダルを獲得した。翌2009年の世界選手権では日本人選手4人目となる個人総合チャンピオンに輝き、2010年、2011年も優勝して史上初となる世界選手権3連覇の偉業を達成した。世界チャンピオンとして迎えた2度目となるオリンピック(ロンドン)では、予選でミスを重ねて個人9位。しかし、団体決勝ではチーム一丸となって銀メダル獲得に貢献し、さらに、個人総合では念願の金メダルを獲得した。オリンピック後、故障に悩まされるも、2013年全日本個人総合では史上初の6連覇を達成し、さらなる高みを目指す。

## 【国内大会】

- ◆03 全国中学:個人42位 ◆04 全日本ジュニア2部:出場 ◆04 高校選抜:個人15位 ◆05 インターハイ:個人14位
- ◆05 全日本ジュニア:個人3位 ◆05 全日本:出場 ◆06 高校選抜:個人1位 ◆06 インターハイ:個人2位
- ◆06 全日本ジュニア:個人1位 ◆06 全日本:個人8位 ◆07 世界選手権2次予選:個人16位 ◆07NHK杯:個人11位
- ◆07 全日本学生:個人1位 ◆07 全日本:個人7位 ◆08 五輪2次選考会:個人1位 ◆08NHK杯:個人2位
- ◆08 全日本学生:個人2位 ◆08 全日本:個人1位 ◆09 全日本個人:個人1位 ◆09NHK杯:個人1位
- ◆09 全日本学生:個人1位 ◆09 全日本種目別:ゆか1位、つり輪2位、平行棒1位、鉄棒2位
- ◆10 全日本個人:個人1位 ◆10NHK杯:個人1位 ◆10 全日本学生:個人1位
- ◆10 全日本種目別:ゆか1位、跳馬1位、平行棒7位、鉄棒1位 ◆11 全日本個人:個人1位
- ◆11NHK杯:個人1位 ◆11 社会人:出場 ◆11 全日本種目別:ゆか1位、あん馬1位、鉄棒1位
- ◆12 全日本個人:個人1位 ◆12NHK杯:個人1位 ◆12 社会人:個人1位 ◆13 全日本個人:個人1位
- ◆13NHK杯:個人1位

## 【国際大会】

- ◆05 国際ジュニア:オープン出場 ◆06 環太平洋選手権ジュニア:団体1位、ゆか1位、つり輪4位、平行棒2位
- ◆06 ボローニンカップ:団体1位、個人4位、ゆか3位、つり輪6位、平行棒7位、鉄棒3位
- ◆07 フランス国際:跳馬3位 ◆07 ユニバーシアード:団体1位、ゆか1位、跳馬3位
- ◆07 北京国際招待:団体2位、ゆか7位 ◆08 天津国際:ゆか1位 ◆08 北京五輪:団体2位、個人2位、ゆか5位
- ◆08 豊田国際:ゆか2位 ◆08 ワールドカップ決勝:ゆか2位 ◆09 コトブス国際:ゆか1位
- ◆09 JAPAN CUP:団体1位、個人1位 ◆09 世界選手権:個人1位、ゆか4位、鉄棒6位

- ◆09 豊田国際:ゆか1位、あん馬7位、鉄棒2位◆10 フランス国際:つり輪 2 位、鉄棒 1 位
- ◆10JAPAN CUP:団体 1 位、個人 1 位◆10 世界選手権:団体 2 位、個人 1 位、ゆか 2 位、平行棒 3 位
- ◆10 豊田国際:ゆか 1 位、跳馬 6 位、鉄棒 2 位◆11JAPAN CUP:団体 1 位、個人 1 位
- ◆11 世界選手権:団体 1 位、個人 1 位、ゆか 1 位、あん馬 5 位、つり輪 6 位、平行棒 4 位、鉄棒 3 位
- ◆11W杯東京カップ:個人 1 位◆11 豊田国際:ゆか 1 位、鉄棒 1 位
- ◆12 オリンピック:団体 2 位、個人 1 位、ゆか 2 位

### 加藤 凌平 KATO, Ryohei



1993年(平成5年)9月9日生まれ(20歳)。埼玉県出身。身長163cm。体操開始年齢9歳。

得意種目「ゆか」。現所属:順天堂大学(2年生)。コーチ:原田睦巳、富田洋之。

初めての国際大会:2008 リューキンカップ

ナショナル入り年 2011年:ナショナル No.179。

父親がKONAMIの指導者で、ナショナルコーチであったことから、幼少期から草加の体育館が遊び場として体操に触れる。その父親の勧めによりKONAMIの選抜クラスで本格的に週4~5回の練習を始める。自身もいつかは本格的に取り組みたいと思っていた矢先、基本練習を学ぶことで次々に新しい技を覚えることに楽しさを見出し成長する。2010年全日本種目別ゆかで3位に入り、翌年のNHK杯で8位となり一躍トップ選手の仲間入り。しかし、ナショナルとして出場したKOREAN CUP(韓国国際)では思うように他国製の器具に合わせることができず自分の持てる力を出し切れなかったことから、さらに上を目指す練習に取り組む。2011年世界選手権では補欠選手として世界トップの技術力を身近にみることで世界を肌で感じて成長。全日本、NHK杯を通じて得意のゆかで1位を3回獲得して、オリンピック・ロンドン大会日本代表に。ロンドンではデビュー戦とは思えない落ち着きぶりで安定感のある演技を披露して団体銀メダル獲得に大きく貢献。2012年インカレでは大学1年生ながら団体と個人のタイトルを獲得した。さらに2013年4月には内村航平選手に代わって個人総合ワールドカップ・東京大会に出場して2位になり、オールラウンダーとして成長中。

#### 【国内大会】

- ◆08 全日本ジュニア A クラス:個人 1 位◆08 全国中学:個人 7 位◆09 インターハイ:個人 29 位
- ◆09 全日本ジュニア:個人 35 位◆10 高校選抜:個人 5 位◆10 ユースオリンピック 1 次予選:個人 7 位
- ◆10 ユースオリンピック代表決定:個人 6 位◆10 インターハイ:個人 33 位◆10 全日本ジュニア:個人 12 位
- ◆10 全日本種目別:ゆか 3 位◆11 全日本個人:個人 7 位◆11NHK杯:個人 8 位◆11 インターハイ:個人 2 位
- ◆11 全日本ジュニア:個人 2 位◆11 全日本種目別:出場◆12 全日本個人:個人 4 位◆12NHK杯:個人 4 位
- ◆12 全日本学生:個人 1 位◆12 全日本種目別:ゆか 1 位、あん馬 2 位◆13 全日本個人:個人 2 位
- ◆13NHK杯:個人 2 位◆13 全日本学生:個人 4 位

#### 【国際大会】

- ◆08 リューキンカップ(14~15歳の部):個人 1 位◆10 リューキンカップ:個人 14 位
- ◆11 韓国国際:ゆか 6 位、跳馬 5 位、鉄棒 6 位

- ◆11 国際ジュニア:個人2位、ゆか1位、跳馬1位、平行棒3位、鉄棒2位 ◆12 オリンピック:団体2位  
◆12 豊田国際:ゆか1位、あん馬1位、鉄棒4位 ◆13W杯フランス大会:平行棒1位 ◆13W杯東京大会:個人2位

### 田中 和仁 TANAKA, Kazuhito



1985年(昭和60年)5月16日生まれ(28歳)。和歌山県出身。身長166cm。  
現所属:徳洲会体操クラブ(日本大学卒)。  
得意種目「平行棒」。コーチ:米田功。  
初めての国際大会:2003年国際ジュニア  
ナショナル入り2007年:ナショナルNo.166。

両親が体操競技選手だったこと、また、父親が指導者だったため競技の道に進む。妹(理恵)、弟(佑典)も体操競技選手として日本代表。2003年、高校生ながらボローニンカップのシニアの部に出場し、ロシアのネモフ選手らと競い、鉄棒で3位と健闘する。すべてにおいて正確に演技する技さばきから洗練された安定感を表現できる世界屈指の選手。2007年ユニバーシアード団体金メダルメンバー。2009年世界選手権平行棒銅メダル獲得。2010年、足首のけがで出遅れ、辛うじて代表入りを果たしたが、世界選手権団体決勝でミスを出し、悔しい思いを胸に残す。2011年地元での世界選手権・東京大会ではチーム貢献し、ようやくつかんだオリンピック(ロンドン)代表において、自身のミスやチームメイトの負傷退場というアクシデントに見舞われながらも最後まであきらめず、団体銀メダル獲得に貢献した。

#### 【国内大会】

- ◆97 全日本ジュニアBクラス:個人1位 ◆98 全日本ジュニアAクラス:個人2位 ◆99 全日本ジュニア2部:個人22位  
◆01 全日本ジュニア:個人62位 ◆02 全日本ジュニア:個人25位 ◆03 高校選抜:個人16位  
◆03 インターハイ:個人7位 ◆03 全日本ジュニア:個人2位 ◆03 全日本:出場 ◆04 全日本:出場  
◆05 ユニバー代表決定:個人32位 ◆05 全日本学生:個人15位 ◆05 全日本:出場  
◆06 世界選手権2次予選:個人32位 ◆06 全日本学生:個人12位 ◆06 全日本:個人22位  
◆07 世界選手権2次予選:個人7位 ◆07NHK杯:個人6位 ◆07 全日本学生:個人8位 ◆07 全日本:個人2位  
◆08 五輪2次選考会:個人3位 ◆08NHK杯:個人6位 ◆08 全日本社会人:個人4位  
◆08 全日本:個人2位、平行棒1位 ◆09 全日本個人:個人2位 ◆09NHK杯:個人2位  
◆09 全日本社会人:個人7位 ◆09 全日本種目別:平行棒7位 ◆10 全日本個人:個人14位 ◆10NHK杯:個人4位  
◆10 社会人:個人2位 ◆10 全日本種目別:つり輪6位、平行棒6位 ◆11 全日本個人:個人3位  
◆11NHK杯:個人2位 ◆11 社会人:個人1位 ◆11 全日本種目別:平行棒1位 ◆12 全日本個人:個人7位  
◆12NHK杯:個人5位 ◆12 社会人:個人5位 ◆13 全日本個人:個人9位 ◆13NHK杯:個人4位

#### 【国際大会】

- ◆03 国際ジュニア:個人6位、ゆか7位、つり輪3位、平行棒2位、鉄棒2位  
◆03 ボローニンカップ:個人13位、鉄棒3位 ◆07 ユニバーシアード:団体1位、つり輪5位、鉄棒4位  
◆07 北京プレ五輪:団体2位、鉄棒3位 ◆08 カタール国際:平行棒4位、鉄棒4位  
◆08DTBポカール:平行棒8位、鉄棒5位 ◆09 コトブス国際:平行棒3位、鉄棒7位  
◆09JAPAN CUP:団体1位、個人3位 ◆09 世界選手権:個人4位、平行棒3位  
◆09 豊田国際:つり輪4位、平行棒2位 ◆10JAPAN CUP:団体1位 ◆10 世界選手権:団体2位

- ◆10 豊田国際: 平行棒 1 位 ◆11 JAPAN CUP: 団体 1 位 ◆11 世界選手権: 団体 2 位、平行棒 8 位
- ◆11 豊田国際: あん馬 9 位、平行棒 2 位 ◆12 オリンピック: 団体 2 位、個人 6 位、平行棒 4 位
- ◆12 W杯ドイツ: 個人 4 位 ◆12 W杯イギリス: 個人 2 位 ◆12 豊田国際: あん馬 2 位、平行棒 2 位
- ◆13 W杯東京: 個人 7 位

## 山室 光史 YAMAMURO, Koji



1989年(平成元年)1月17日生まれ(24歳)。茨城県出身。身長158cm。  
現所属:コナミ(日本体育大学卒)。コーチ:加藤裕之、佐藤寿治、森泉貴博。  
初めての国際大会:2000年環太平洋スクール選手権  
ナショナル入り2007年:ナショナル No.168。

呉傑コーチにより基礎の徹底指導を受ける。腰の怪我により、一時、体操から離れる時期もあったが、その後、地道な治療と練習を続け、2006年インターハイで同学年である内村航平選手の3冠を阻止して個人総合優勝する。

2008年アジア選手権では見事に個人総合優勝を果たし、シニアとして初の国際タイトルを獲得。跳躍系種目とつり輪を得意とし、初代表となった2010年世界選手権では、団体銀メダル獲得に貢献し、種目別つり輪でも4位に。さらに、2011年地元での世界選手権・東京大会では個人総合とつり輪でそれぞれ銅メダルを獲得し、個人としての成長を結果に示した。初出場となるオリンピックでは、団体決勝の跳馬の着地において足を骨折するアクシデントに見舞われたが、痛みのある中でも平静を装い、チームのそばでその戦いを最後まで応援し続けた。懸命のリハビリにより代表選考会に間に合い、得意とするつり輪の成績で3度目となる世界選手権代表の座を勝ち得た。

### 【国内大会】

- ◆98 東日本ジュニア: 円馬大会出場 ◆99 東日本ジュニア A クラス: 個人2位 ◆99 全日本ジュニア B クラス: 個人2位
- ◆00 東日本ジュニア A クラス: 個人2位 ◆00 全日本ジュニア A クラス: 個人3位
- ◆01 東日本ジュニア A クラス: 個人2位 ◆03 全日本ジュニア2部: 出場 ◆03 全国中学: 個人9位
- ◆04 全日本ジュニア: 個人46位 ◆04 高校選抜: 個人8位 ◆05 インターハイ: 個人2位 ◆05 全日本ジュニア: 個人5位
- ◆05 全日本: 個人予選46位 ◆06 インターハイ: 個人1位 ◆06 全日本ジュニア: 個人2位
- ◆06 全日本: 個人予選61位 ◆07 ユニバー2次予選: 個人23位 ◆07 全日本学生: 個人26位
- ◆07 全日本: 個人9位 ◆08 五輪2次選考会: 個人21位 ◆08 全日本学生: 個人4位
- ◆08 全日本: 個人3位、つり輪1位 ◆09 全日本個人: 個人4位 ◆09 NHK杯: 個人6位 ◆09 全日本学生: 個人4位
- ◆09 全日本種目別: つり輪1位、跳馬8位 ◆10 全日本個人: 個人3位 ◆10 NHK杯: 個人2位
- ◆10 全日本学生: 個人2位 ◆10 全日本種目別: つり輪1位、跳馬2位 ◆11 全日本個人: 個人4位
- ◆11 NHK杯: 個人4位 ◆11 全日本社会人: 個人2位 ◆11 全日本種目別: つり輪1位、跳馬2位
- ◆12 全日本個人: 個人12位 ◆12 NHK杯: 個人2位 ◆13 全日本個人: 個人36位 ◆13 NHK杯: 個人35位
- ◆13 全日本種目別: つり輪4位

### 【国際大会】

- ◆00 環太平洋スクール: 団体2位、個人1位 ◆00 UWW カップ: 個人1位 ◆05 国際ジュニア: オープン出場
- ◆06 ウクライナ国際: 団体2位、個人4位、あん馬1位、跳馬1位、鉄棒3位

- ◆06 環太平洋選手権ジュニア: 団体1位、個人1位、ゆか2位、あん馬1位、跳馬3位、鉄棒1位
- ◆06 ポローニンカップ: 団体1位、個人2位、ゆか5位、あん馬7位、跳馬7位、平行棒8位、鉄棒7位
- ◆08 ハンガリー国際: あん馬8位、つり輪4位、跳馬2位、平行棒7位
- ◆08 アジアシニア選手権: 団体1位、個人1位、ゆか2位、つり輪2位、跳馬5位、平行棒6位
- ◆09 モントリオール国際: ゆか5位、つり輪8位、跳馬2位 ◆09 JAPAN CUP: 団体1位
- ◆10 アメリカンカップ: 個人6位 ◆10 JAPAN CUP: 団体1位、個人2位
- ◆10 世界選手権: 団体2位、つり輪4位 ◆11 フランス国際W杯: つり輪5位(予選2位)
- ◆11 JAPAN CUP: 団体1位 ◆11 世界選手権: 団体2位、個人3位、つり輪3位
- ◆11 豊田国際: つり輪1位、跳馬3位 ◆12 オリンピック: 団体2位

### 亀山 耕平 KAMEYAMA, Kohei



1988年(昭和63年)12月28日生まれ(24歳)。宮城県出身。身長170cm。  
体操開始年齢6歳。

現所属: 徳洲会体操クラブ(仙台大学出身)。得意種目「あん馬」。コーチ: 米田功。趣味: 読書、映画鑑賞。

初めての国際大会: 2010年モントリオール国際。

ナショナル入り 2013年: ナショナル No.190。

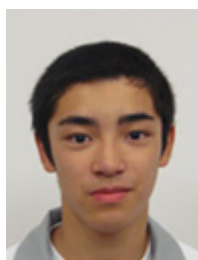
小さいころから動くことが好きで、自宅近くに体操クラブ(仙台スピン)があったことから、親の勧めで体操を始める。その母は子供のころ体操に取り組んでいた。仙台スピン⇒埼玉栄高校⇒仙台大学⇒徳洲会体操クラブ。美しい演技を表現できる選手で、特に腰高な旋回が素晴らしく、2009年全日本種目別でタイトルを獲得した。翌年、モントリオールの国際大会デビュー戦で鉄棒優勝、あん馬とつり輪で3位に入る健闘をみせた。日ごろの練習では、日本が苦手とされるあん馬での貢献だけでなく、すべての種目において安定感のある演技ができるように心がけながら、初めての世界選手権に臨む。

#### 【国内大会】

- ◆03 全国中学: 個人63位 ◆03 全日本ジュニア2部: 個人60位 ◆04 全日本ジュニア2部: 個人5位
- ◆05 高校選抜: 個人17位 ◆05 全日本ジュニア2部: 個人4位 ◆06 高校選抜: 個人15位
- ◆06 インターハイ: 個人7位 ◆06 全日本ジュニア: 個人10位 ◆06 全日本: 出場
- ◆07 全日本学生: 出場 ◆07 全日本: 出場 ◆08 全日本学生: 個人15位 ◆08 全日本: あん馬6位
- ◆09 全日本個人: 個人22位 ◆09 NHK杯: 個人28位 ◆09 全日本学生: 個人17位
- ◆09 全日本種目別: あん馬1位 ◆10 全日本個人: 出場 ◆10 全日本学生: 個人3位
- ◆10 全日本種目別: 出場 ◆11 全日本個人: 個人32位 ◆11 NHK杯: 個人24位
- ◆11 社会人: 個人18位 ◆11 全日本種目別: あん馬4位 ◆12 全日本個人: 出場
- ◆12 社会人: 個人6位 ◆12 全日本種目別: あん馬6位 ◆13 全日本個人: 個人22位
- ◆13 NHK杯: 個人21位 ◆13 全日本種目別: あん馬7位

#### 【国際大会】

- ◆10 モントリオール国際: あん馬3位、つり輪3位、鉄棒1位

**白井 健三 SHIRAI, Kenzo**

1996(平成 8 年)8 月 24 日生まれ(17 歳)。神奈川県出身。身長 159cm。体操開始年齢 3 歳。

現所属:鶴見ジュニア体操クラブ(岸根高校)。得意種目「ゆか」「跳馬」。

コーチ:水口晴雄。

初めての国際大会:2011 年国際ジュニアチームカップ

ナショナル入り 2013 年:ナショナル No.189。

家族が体操一家であり、両親が体操の指導者であることから 2 人の兄(勝太郎、晃二郎)とともに自然と体操と向き合っていく。2011 年、中学 3 年生として初めて出場した全日本種目別(ゆか)では、後方宙返り 3 回半ひねりからの宙返り技など、当時の世界トップ選手でもこなしていなかった大技を成功させ、世界チャンピオン内村航平選手に及ばなかったものの、周囲を驚かせた。2011 年 12 月のボローニンカップでは後方宙返り 4 回ひねりを成功させ、ロシアの会場でどよめきと喝さいを受け、Youtube を通じて世界的に注目されるようになる。2012 年 11 月、次世代の中国シニア選手が出場するアウェーのアジア選手権に出場。初めて男女の揃う体操ニッポン選手団の一員として戦うチームワークに楽しさを感じ、種目別ゆかで優勝。ジュニアの全国大会においてゆかでは、2008 年から優勝を重ね、2013 年 6 月、念願の種目別タイトルを獲得。さらに世界選手権代表選考基準として設定された得点 15.900 をマークし、日本体操男子史上、最年少の代表選手となり、初めての世界選手権に挑む。

**【国内大会】**

◆07 全日本ジュニア B クラス:個人 7 位◆08 全日本ジュニア B クラス:個人 3 位◆09 全日本ジュニア A クラス:個人 32 位◆10 全日本ジュニア 2 部:個人 15 位◆10 全国中学:個人 5 位◆11 全日本ジュニア 2 部:個人 2 位◆11 全国中学:個人 3 位◆11 全日本種目別:ゆか 2 位◆12 インターハイ:個人 36 位◆12 全日本ジュニア:個人 10 位◆12 全日本種目別:ゆか 5 位◆13 高校選抜:個人 10 位◆13 全日本個人:予選 53 位◆13 全日本種目別:ゆか 1 位◆13 インターハイ:個人 3 位◆13 全日本ジュニア:個人 3 位

**【国際大会】**

◆11 国際ジュニアチームカップ:団体 4 位、<15-16 歳>個人 6 位  
◆11 ボローニンカップ:ジュニア個人 4 位、ゆか 1 位、跳馬 1 位  
◆12 ロシアジュニア国際:団体 9 位、個人 1 位、ゆか 1 位、つり輪 7 位、跳馬 1 位、平行棒 2 位、鉄棒 1 位◆12 アジア選手権:団体 2 位、ゆか 1 位、跳馬 6 位